

平成27年度県立大学地域貢献研究の研究成果について（完了報告）

研究テーマ	福井県における人口減少への政策対応のあり方に関する研究
研究期間	平成27年度（単年度）
主たる研究者	【学部・学科】地域経済研究所 【職・氏名】教授・佐々井 司
<p>○研究目的</p> <p>福井県における人口減少の人口学的メカニズムと社会経済要因に関する調査・分析を通じて、人口減少の背景と原因を掌握し、人口減少への政策対応のあり方を検証する。</p> <p>○研究成果</p> <p>下記の3項目について迅速に研究を行った。</p> <p>1. 人口減少の人口学的メカニズムの解明</p> <p>人口変動の人口学要因である自然動態と社会動態の定量的な分析を通じて、福井県における人口減少のメカニズムを明確にする。そのうえで、自然動態と社会動態の相互関係、自然動態、社会動態における男女・年齢別、コーホート別にみた変化の傾向を分析し、可能な限り厳密に福井県の人口動向の潮流を把握する。これらの分析結果は、今後の政策策定に寄与する将来人口推計の仮定設定の際にも有効に用いることができる。</p> <p>2. 人口減少の社会経済要因に関する調査・分析</p> <p>福井県における少子化の要因、人口転出超過の要因を、定量的、かつ定性的な分析を通じて明らかにする。具体的には、福井県における雇用環境とワークライフバランス、高校ならびに大学卒業後の進学・就職事情、結婚の状況、世帯の家族構成の変化等について、既存の調査結果や公的データを用いた分析、および新規の調査実施を通じて実態掌握を試みる。人口動向に影響を及ぼすと一般的に考えられている社会経済要因が、福井県においてどのように作用しているかについて考察を加える。なお、近年の福井経済との関係では、企業誘致や県内産業の海外進出が県内雇用や人口動向にどのような影響を及ぼすのかについて、これまでの実績等を参考により詳細な検証を行う。</p> <p>3. 人口減少への政策対応のあり方に関する考察</p> <p>福井県の諸制度が人口動向に及ぼす効果を検証し、新たな政策立案のための政策提言を行う。具体的には、結婚支援、子育て支援、女性活躍応援などの取り組みと出生動向との関係、UIJ ターン推進事業と人口移動との関係などについて、因果分析の結果なども考慮しつつ、成果と課題の客観的な評価を行う。とりわけ、「幸福度全国1位」の福井において、少子高齢化と人口減少が今後の地域社会にどのような影響を及ぼす可能性があるのかについてより詳細な調査分析を行い、重要な政策提言に繋げるよう努めた。今後も引き続き精査する予定である。</p> <p>なお、福井県における人口動向は県下の地域別に異なることから、いずれの研究項目においても、地域ブロックや市町村別等の詳細な分析を可能な限り行った。詳細地域についての調査研究、ならびに調査結果の考察に際しては、各市町村関係部局との協働を重視した。その多くは、各地域の創生戦略にも反映されている。</p> <p>また、本研究に資すると考えられるわが国他地域の実例を参考に、福井県が昨年2015年に策定した「ふくい創生・人口減少対策戦略」がさらに洗練されたものになるよう提言を行う所存である。</p>	

図1 転入超過数の推移 (福井県)

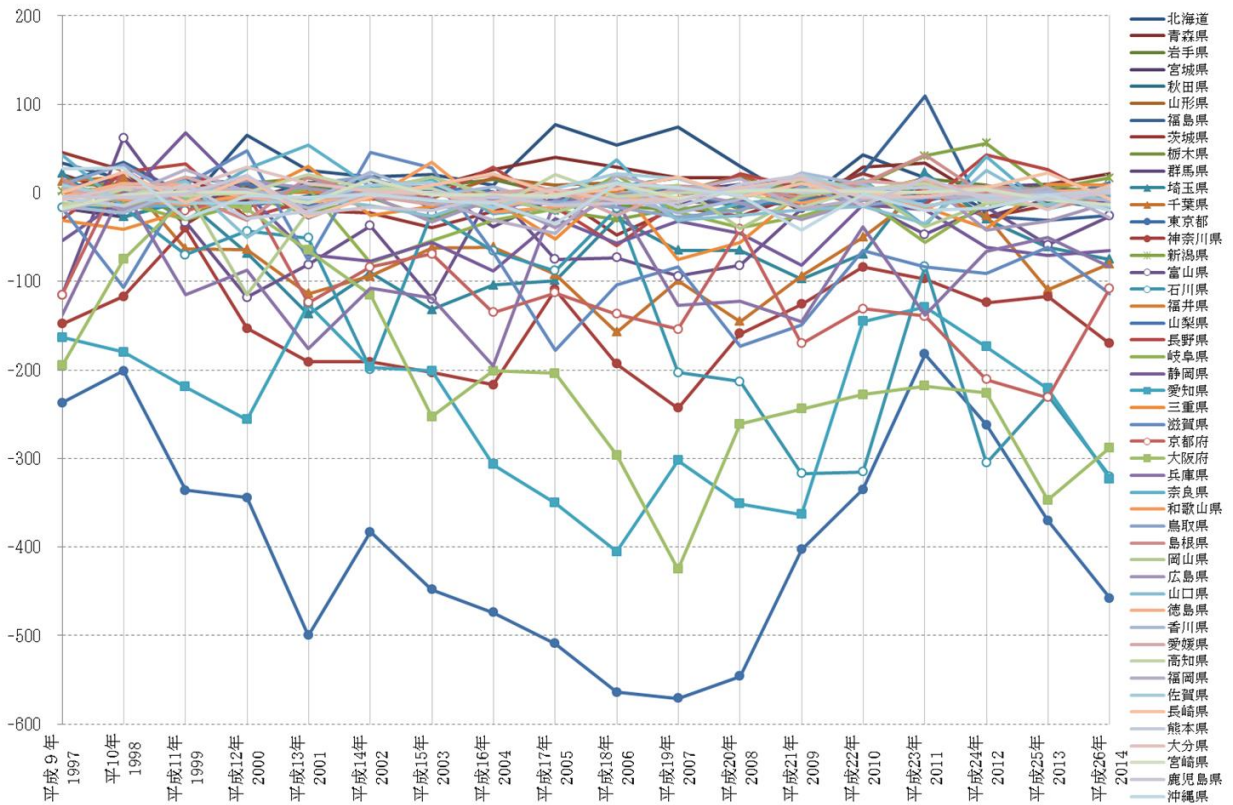
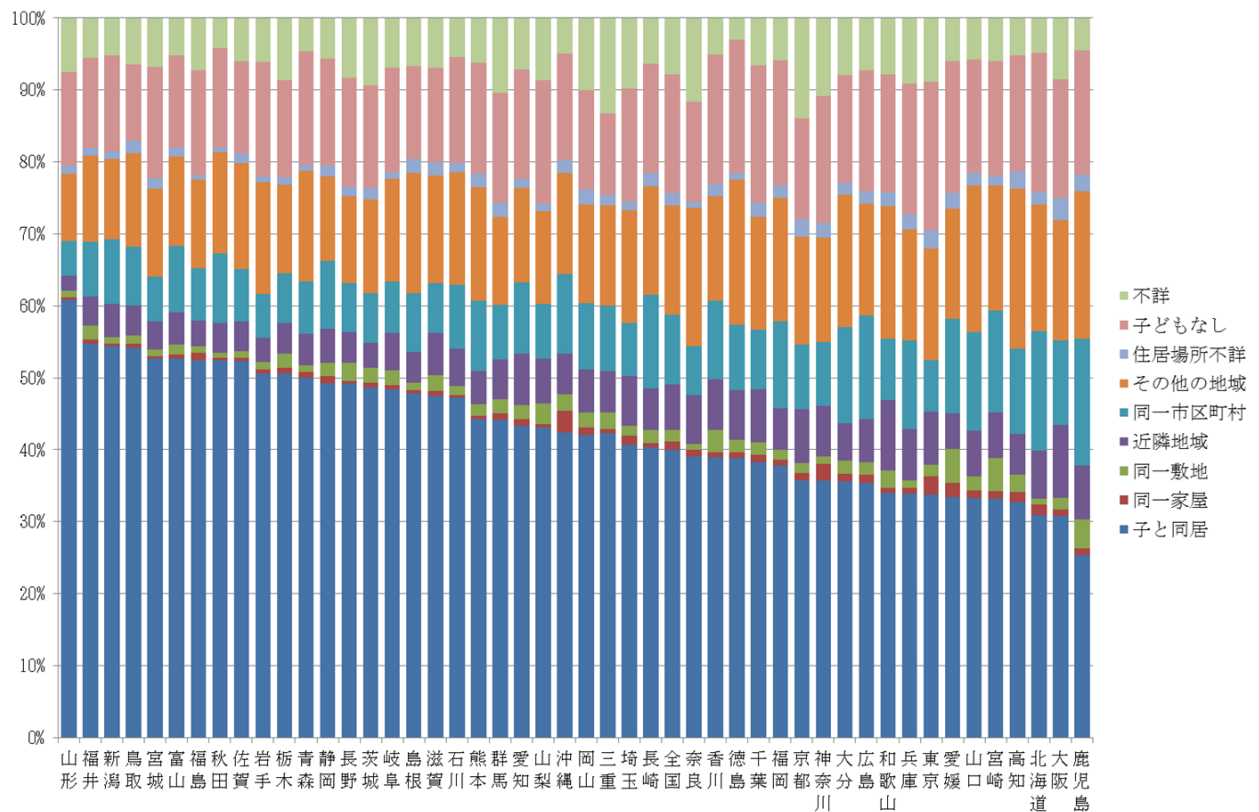


図2 都道府県別にみた65歳以上のいる世帯 (子ども世帯との居住関係)



※ホームページ掲載用として使用するため、A4 2枚程度で簡潔にまとめてください。
 参考資料 (図、写真等) があれば添付してください。